

「赤ちゃんはどこからくるの？」これは、どの子もきまつて聞く質問です。私は保育所や幼稚園からの要請があると、人形劇団のメンバーと一緒に出掛けます。

「赤ちゃんは、川からどんぶらこ、どんぶらこ」と、お父さん人形とお母さん人形が、小さな船に乗って流れてきた赤ちゃんを抱き上げます。すると園児たちは大声で「ちがーう」。今度は「コウノトリが赤ちゃんの籠をくわえて、パタパタパタ」と、コウノトリが飛んでくると、「ちがーう、お母さんから生まれるんだ」と園児たちが叫びます。

次は、病院で生まれる場面。お母さん人形のおへそが広がって、オギャー。「ちがーう」と、園児たちは怒ります。子どもたちは本当のことを聞きたいんですね。

そこで、お父さん人形が「がんばれ、がんばれ」と励ます中、赤ちゃんはお母さんの赤ちゃんが生まれるトンネルを通ってオギャー。男の子と女の子の双子ちゃんが次々に生まれてくるので、園児たちは大喜びして、「ハッピーバースデー」を歌います。

◇ 4 ◇

あかちゃんはどこから？—園児も“本当のこと”を知りたい—

どの子も、こんなふうにハッピーな誕生だといのに。私は、十数年前から、児童養護施設の子どもたち、職員の方たちへの性教育の仕事もしていて、私が仕事の拠点にしているアーニホールには、入所中の3、4歳のかわいい子どもたちもやってきます。入所の理由は、母親が精神疾患で入院中だったり、薬物乱用で服役中だったり、父親の児童虐待で親子分離されたりと、さまざま。

私が制作した紙芝居「ひとりひとり大切ないのち」をみせたり、絵本の読み聞かせをしたりしながら、この子たちの今後の過酷な人生を思っ



保育園での人形劇「あかちゃんはどこから？」